

No	施策名	事務事業の目的	H25決算額(円)	事務事業評価		事務事業の現状・課題	平成26年度中に実施した課題解決や事務改善に向けた取組の成果	平成27年度以降の課題解決に向けた取組方針(今後3～5年程度をイメージ)
	事務事業コード		内 直接事業費	担当部課名				
	事務事業名		H26決算額(円)	妥当性評価				
			内 直接事業費	有効性評価				
			内 人件費	効率性評価				
1	学校教育の充実	教育委員会及び教育委員会事務局の円滑な運営を図る。教育委員会は、「学校その他の教育機関を管理し、学校の組織編制、教育課程、教科書その他の教材の取扱及び教育職員の身分取扱に関する事務を行い、並びに社会教育その他教育、学術及び文化に関する事務を行う」ために設置された行政委員会である。	3,506,863	事務事業評価		開かれた教育行政運営のため、ホームページ等により教育委員会の会議内容の公表を行う。	教育委員会の会議内容の公表については、ホームページ等の公表までには至らなかった。	教育行政に対する市民や保護者の期待に応えるため、教育に関する現状と課題の把握に努めるとともに、市民の理解が深まるように情報発信の工夫に努める。
	50101010		2,791,620	教育部 教育総務課				
	教育委員会運営事務		715,243	鈴木 努				
			6,149,376	高い				
			2,843,610	普通				
	3,305,766	普通						
2	学校教育の充実	田原市は大きな地震と津波が予測されていることから、津波被害に対処する小中学校の防災対策を推進し、児童生徒の生命・安全を守る。 また、適正な学校規模を確保することで、児童生徒の切磋琢磨を促し、一人ひとりの個性の伸張を図る。	0	事務事業評価		平成25年4月に防災・少子化に伴う小中学校の再編基本方針を策定。児童数120人未満の10小学校、生徒数120人未満の3中学校を対象に学校再編を検討。 ・和地・堀切・伊良湖小が平成27年4月に統合して伊良湖岬小学校として開校。 ・野田中学校が平成28年4月から田原中学校に統合。	平成27年4月の伊良湖岬小学校の開校に向け、和地小学校の校舎を増築。また、屋外便所及び倉庫の建設。 ・和地・堀切・伊良湖小で開校記念式典を開催。 ・平成26年12月学校全体配置計画を策定。	伊良湖岬中学校の移転先の決定。 ・泉中学校の再編の方向性の決定。 ・新設の伊良湖岬小学校を平成32年度に建設。 ・学校の小規模化の解消のため、地域と意見交換を重ね、地域の意見を十分に尊重して、学校全体配置計画を段階的に進める。
	50101020		0	教育部 教育企画室				
	小中学校再編事業		0	三竹 雅雄				
			65,746,396	極めて高い				
			60,182,845	高い				
	5,563,551	高い						
3	学校教育の充実	教育基本法の趣旨にのっとり、教育水準の維持向上及び地域の実情に応じた教育の振興のため、一人ひとりの児童生徒に応じた教育の充実を図るとともに、地域の魅力を生かした学校教育の充実を図る。	21,107,791	事務事業評価		支援の手法検討、活動成果の評価方法の検討、指導主事の受入人数の検討(教職員全体の受入人数の妥当性)等支援手法について引き続き検討する。	子どもたちの学力向上の基盤となるのは教員の指導力である。研修を充実させるためにも指導主事の派遣をさらに充実させることが望まれていることから、指導主事の人数については現状維持とした。	支援の手法検討、活動成果の評価方法の検討、指導主事の受入人数の検討(教職員全体の受入人数の妥当性)等支援手法について引き続き検討する。
	50101030		20,151,963	教育部 教育総務課				
	義務教育振興事業		955,828	鈴木 努				
			23,055,587	高い				
			21,167,679	普通				
	1,887,908	普通						
4	学校教育の充実	児童生徒の各種大会への参加を支援することにより、体育的及び文化的活動を通じた交流による教育的効果の向上を図るとともに、選手派遣に伴う保護者負担の軽減を図る。	17,049,072	事務事業評価		参加費、旅費等の保護者負担が増大することが課題である。児童生徒が高水準な体育的・文化的活動へ積極的に参加することにより、知識及び技術の向上を支援する。	事業対象が大会参加選手のみであったが、部活動全体を事業対象としたことにより、幅広く児童生徒の知識及び技術の向上が図られた。	児童・生徒の各種大会参加支援に伴う、保護者負担を引き続き軽減するとともに、借り上げバスや公共交通機関を利用した移動手段を検討し、単位コストの縮小を図る。
	50101040		16,276,312	教育部 教育総務課				
	部活動奨励事業		772,760	鈴木 努				
			17,167,286	高い				
			16,743,470	普通				
	423,816	普通						
5	学校教育の充実	小学校(20校)の施設設備の適切な維持管理を計画的に行うことにより、建物の延命化を図り、良好な教育環境を保持するとともに、児童の安全・安心を確保する。	280,223,061	事務事業評価		光熱水費について、各学校へ前年度実績などを提示して、教育活動に支障のない範囲で執行管理の徹底を図り、経費節減に努める。引き続き学校施設について、安全性を確保するための整備に努める。	学校事務職員と連携し、教育活動に支障のない範囲で経費節減に努めた。非構造部材等の落下防止対策を進め、避難所となる屋内運動場の安全性が高まった。	施設全体の老朽化が進んでいることから、維持管理(保守点検)に関する費用は増加が予想される。保守点検結果等を基に優先順位を決め、適切に更新・改修を進める。
	50101050		257,665,428	教育部 教育総務課				
	小学校管理運営事業(50101050, 50101090～50101280)		22,557,633	鈴木 努				
			387,553,434	高い				
			285,490,765	普通				
	102,062,669	普通						
6	学校教育の充実	児童及び教職員用のコンピュータ環境を整備し、コンピュータを活用することにより、児童一人ひとりの学習に対する興味関心を高め、学習指導の個別化を図りながら資料活用能力を育成するとともに、教職員等の管理運営の情報化を推進する。	57,255,793	事務事業評価		児童生徒の情報教育環境・教育効果の向上の観点にたち、計画的なパソコン更新が行えるよう、取り組んでいるが、効率性(コスト削減)を検討する必要がある。	リース料は減額となったが、年数の経過したパソコンを使用することにより、修理代等の保守料の経費割合は、全体予算の中でも比較的高めである。	文部科学省の「教育の情報化ビジョン」を踏まえ、教科や教室を問わず活用できるタブレットPCの導入等、ICT環境の変化に対応した整備と同時に、経費節減が課題となる。
	50101060		54,388,311	教育部 教育総務課				
	小学校情報教育整備事業(50101060,50101300)		2,867,482	鈴木 努				
			67,125,890	高い				
			64,706,200	普通				
	2,419,690	普通						
7	学校教育の充実	経済的な理由により就学困難な児童生徒の保護者に対し、学用品費・給食費等、学校にかかる費用の一部を援助する。	22,207,466	事務事業評価		社会情勢の変化に対応して適正な給付を行うため、認定基準、給付費目、給付方法の検討を引き続き行う必要がある。	近隣市を参考に、社会情勢に応じた給付を適正に行った。 ・電算リストを活用し、事務の効率化を図った。	社会情勢の変化に対応して適正な給付を行うため、認定基準、給付費目、給付方法の検討を引き続き行う。
	50101070		20,741,864	教育部 教育総務課				
	小学校教育扶助事業(50101070,50101310)		1,465,602	鈴木 努				
			22,852,474	極めて高い				
			21,494,939	極めて高い				
	1,357,535	普通						

No	施策名	事務事業の目的	H25決算額(円)	事務事業評価		事務事業の現状・課題	平成26年度中に実施した課題解決や事務改善に向けた取組の成果	平成27年度以降の課題解決に向けた取組方針(今後3～5年程度をイメージ)
	事務事業コード		内 直接事業費	担当部課名				
	事務事業名		H26決算額(円)	妥当性評価				
			内 直接事業費	有効性評価				
			内 人件費	効率性評価				
8	学校教育の充実	中学校(7校)の施設設備の適切な維持管理を計画的に行うことにより、建物の延命化を図り、良好な教育環境を保持するとともに、生徒の安全・安心を確保する。	124,897,810	事務事業評価	光熱水費について、各学校へ前年度実績などを提示して、教育活動に支障のない範囲で執行管理の徹底を図り、経費節減に努める。引き続き学校施設について、安全性を確保するための整備に努める。	・学校事務職員と連携し、教育活動に支障のない範囲で経費節減に努めた。 ・非構造部材等の落下防止対策を進め、避難所となる屋内運動場の安全性が高まった。	施設全体の老朽化が進んでいることから、維持管理(保守点検)に関する費用は増加が予想される。保守点検結果等を基に優先順位を決め、適切に更新・改修を進める。	
	50101290		114,812,070	教育部 教育総務課				
	中学校管理運営事業(50101290,50101330～50101390)		10,085,740	鈴木 努				
			191,930,402	高い				
			141,160,754	普通				
		50,769,648	普通					
改善の効果		普通						
9	学校教育の充実	一人ひとりの児童生徒に応じた教育を充実させるために、必要な人材を配置する。 ・児童生徒が地域に親しむために、地域の環境や人材を生かした教育活動を推進する。	104,711,157	事務事業評価	一人一人の児童生徒に応じた教育を充実させるとともに、子どものキャリア発達を促していく必要がある。 ・児童生徒が自ら考え学習する力を育成するための教育環境をより高める必要がある。	・夢をはぐむ「夢の教室」事業を小学校だけでなく中学校まで拡大し、夢や目標をもつこと、仲間と協力することの大切さについて学ぶことができた。 ・学校図書館司書を増員し、学習資料センターとしての図書館の機能を高めた。	・児童生徒一人一人に対応したきめの細かい学習を保証するため、授業に関わる人員を増員し、質の高い授業を行う。 ・発達障害のある児童生徒等への支援を厚くするため、学習支援員等の増員を行う。	
	50102010		55,196,109	教育部 学校教育課				
	学校教育推進事業		49,515,048	鈴木 欽也				
			101,369,113	高い				
			60,824,429	高い				
		40,544,684	高い					
改善の効果		高い						
10	学校教育の充実	・児童生徒が英語に慣れ、国際理解を深めるために、外国青年語学講師(ALT)を中学校に派遣する。 ・英語に親しみ英語を通したコミュニケーションの素地を養うために、英語指導手を小学校5・6年の英語活動の時間に派遣する。	23,823,035	事務事業評価	ALT4体制で市内全小中学校に派遣している。地域の英語の堪能な方を英語指導助手として11人雇用し、市内全小中学校に派遣している。 ・英語活動において、学級担任と英語指導助手とのTTを工夫する必要がある。	・指導主事による学校巡回を行い、指導助言を行うことで、英語指導助手の資質向上とTTの改善を図った。 ・年3回の英語指導助手研修を行い、授業のアイデア等を共有することができた。	・英語教育の一層の充実を図るため、実践的な研修の機会を増やしていく。 ・児童生徒が英語等に親しむ機会を増やし、国際理解を深める。	
	50102020		22,079,205	教育部 学校教育課				
	国際理解教育推進事業		1,743,830	鈴木 欽也				
			23,334,468	高い				
			21,724,943	高い				
		1,609,525	高い					
改善の効果		高い						
11	学校教育の充実	アメリカ・ジョージタウン市とギブソン郡及びプリンストン市、中国・昆山市、韓国・銅雀区との中学生の派遣と受け入れを通して、国際交流を推進する。	8,654,010	事務事業評価	アメリカ・ジョージタウン市とアメリカ・ギブソン郡及びプリンストン市との交流事業を隔年で行っている。 ・中国・昆山市との交流事業を隔年で行っている。 ・多くの中学生が交流できるように、工夫する必要がある。	海外交流の実施について、各学校にアンケート調査を行い、より効果的に事業が展開できるようにした。	・学年・全校生徒に交流が広がるように、各中学校での取り組みを積極的に知らせる。 ・校内での報告会をより工夫する。 ・校内の掲示板等を活用し、国際交流コーナーを設置する。	
	50102030		3,196,657	教育部 学校教育課				
	中学生海外交流事業		5,457,353	鈴木 欽也				
			8,466,915	普通				
			3,755,223	高い				
		4,711,692	普通					
改善の効果		普通						
12	学校教育の充実	不登校児童・生徒、悩みを抱えた児童・生徒に対し、学校・家庭等との連携を図りながら、きめ細かな相談や指導及び助言を行う。中学校における相談や小学校における個別指導などの教育活動を支援する。	31,321,303	事務事業評価	不登校児童生徒は、毎年ほぼ同じ人数の子供が出現している。 ・悩みを抱えた児童生徒数は増加しており、問題行動につながる事が多く、心のケアを必要としている。	組織の見直しを行い、各担当ごとの役割の明確化と連携の強化を図った。職員が動きやすくなり、教育サポートセンターとしての機能が高まった。	教育相談、カウンセリングについての要望が多く、時間数の増加や直接相談に出かける巡回活動を充実する。	
	50102040		9,837,417	教育部 学校教育課				
	教育サポートセンター事業		21,483,886	鈴木 欽也				
			28,352,936	高い				
			11,683,942	高い				
		16,668,994	高い					
改善の効果		高い						
13	学校教育の充実	教職員の資質及び指導力の向上を図るために、適時に研修を行う。校内での現職研修を充実させるために研修委託を行う。研究指定校や教育課題研究校による教育活動の研究推進を支援する。	12,725,929	事務事業評価	教職員には、常に指導力の向上が義務付けられている。最新の教育について研究を進めるとともに、広く内容を周知することで、各校の研修を進める必要がある。	・愛知県教育委員会からの研究委嘱について、実践研究を進めた。 ・教育研究校を指定し、教育課題の解決や教育研究を推進した。	・愛知県教育委員会からの研究委嘱について、実践研究を進める。 ・教育研究校を指定し、教育課題の解決や教育研究を推進する。	
	50102050		4,216,440	教育部 学校教育課				
	教員研修事業		8,509,489	鈴木 欽也				
			12,808,439	高い				
			4,339,353	高い				
		8,469,086	普通					
改善の効果		高い						
14	学校教育の充実	学校保健安全法に基づき、小学校20校の児童及び小学校教職員の健康診断を実施し、疾病の早期発見や予防のために適正な健康管理を図る。	23,812,379	事務事業評価	児童及び小学校教職員の健康を管理し、疾病の早期発見、予防に適切に対応する必要がある。	悉皆検査を行うことで、疾病の早期発見・予防ができた。	悉皆検査を行い、疾病の早期発見予防に努め、健康管理を図る。	
	50102060		22,231,870	教育部 学校教育課				
	児童・職員健康管理事業		1,580,509	鈴木 欽也				
			24,605,210	高い				
			22,623,204	高い				
		1,982,006	高い					
改善の効果		高い						

No	施策名	事務事業の目的	H25決算額(円)	事務事業評価	事務事業の現状・課題	平成26年度中に実施した課題解決や事務改善に向けた取組の成果	平成27年度以降の課題解決に向けた取組方針(今後3～5年程度をイメージ)
	事務事業コード		内 直接事業費	担当部課名			
	事務事業名		H26決算額(円)	妥当性評価			
			内 直接事業費	有効性評価			
			内 人件費	効率性評価			
15	学校教育の充実	指導の効果を高めるために、明るい心、みんなの安全、楽しい体育、ことばのきまり等の補助教材を購入する。効率よく児童を指導するために、教師用指導書、教材資料等を購入する。	5,716,022	事務事業評価	教科書のない道徳、安全教育、体育等の教育向上と維持が必要である。	明るい心、みんなの安全、楽しい体育、ことばのきまり等の補助教材や教師用指導書、教材資料等を購入し、効率よく児童を指導することができた。	明るい心、みんなの安全、楽しい体育、ことばのきまり等の補助教材や教師用指導書、教材資料等を購入し、効率よく児童を指導する。
	50102070		4,474,424	教育部 学校教育課			
	小学校教材購入事業		1,241,598	鈴木 欽也			
			6,192,672	普通			
			4,575,772	高い			
	1,616,900	高い					
						改善の効果	高い
16	学校教育の充実	学校保健安全法に基づき、中学校7校の生徒及び中学校職員の健康診断を実施し、疾病の早期発見や予防のために適正な健康管理を図る。	16,706,681	事務事業評価	生徒及び中学校職員の健康を管理し、疾病の早期発見、予防に適切に対応する必要がある。	悉皆検査を行うことで、疾病の早期発見・予防ができた。	悉皆検査を行い、疾病の早期発見予防に努め、健康管理を図る。
	50102080		15,126,172	教育部 学校教育課			
	生徒・職員健康管理事業		1,580,509	鈴木 欽也			
			17,174,848	高い			
			15,192,842	高い			
	1,982,006	高い					
						改善の効果	高い
17	学校教育の充実	指導の効果を高めるために、明るい人生、中学生の安全、図説中学生体育、ことばのきまり等の補助教材を購入する。効率よく生徒に指導するために、教師用指導書、教材資料等を購入する。	4,312,909	事務事業評価	教科書のない道徳、安全教育、体育等の教育向上と維持が必要である。	明るい人生、中学生の安全、図説中学生の体育、ことばのきまり等の補助教材や教師用指導書、教材資料等を購入し、効率よく生徒を指導することができた。	明るい人生、中学生の安全、図説中学生の体育、ことばのきまり等の補助教材や教師用指導書、教材資料等を購入し、効率よく生徒を指導する。
	50102490		3,071,311	教育部 学校教育課			
	中学校教材購入事業		1,241,598	鈴木 欽也			
			4,640,646	普通			
			3,023,746	高い			
	1,616,900	高い					
						改善の効果	高い
18	学校教育の充実	給食センターの維持管理・運営を行い、給食を実施することにより、園児・児童・生徒の食事についての正しい理解と望ましい食習慣を養い、合理的な栄養摂取による健康増進を図る。	518,696,979	事務事業評価	安全安心なおいしい給食を提供していく。残食率の低減に努める。地元食材の使用率は、大きくは伸びないと考えられるが工夫をしていく。	残食率を低減させるため、献立内容、組み合わせ等を検討し、食べやすく、おいしい献立を実施するなどにより、残食率は低減した。	安全安心なおいしい給食を提供していく。低い残食率を維持する。地元食材の使用率は、大きくは伸びないと考えられるが工夫をしていく。
	50104020		328,219,115	教育部 教育総務課			
	給食センター運営事業(50104020,50104170)		190,477,864	鈴木 努			
			755,343,498	極めて高い			
			737,982,871	高い			
	17,360,627	高い					
						改善の効果	普通
19	学校教育の充実	私立高校生への保護者の負担を軽減するため、授業料の一部を補助する。また、田原市奨学金制度は、田原市立中学校を卒業し、学業・人物ともに優れ、経済的に困難な生徒に田原市奨学金を支給し、高等学校への就学を支援する。	2,424,220	事務事業評価	国、県制度の動向及び他市町の状況を把握し、公立高等学校との整合性を保ち、本市の状況にあった必要な補助が行えるよう、助成額、補助基準等の検討を引き続き行う必要がある。	近隣市町と比較検討し、本市の状況にあった必要な補助を行った。	国、県制度の動向及び他市町の状況を把握し、公立高等学校との整合性を保ち、本市の状況にあった必要な補助が行えるよう、助成額、補助基準等の検討を引き続き行う。
	50105010		1,644,000	教育部 教育総務課			
	高等学校生徒支援事業		780,220	鈴木 努			
			2,250,906	高い			
			1,908,000	普通			
	342,906	普通					
						改善の効果	普通
20	学校教育の充実	田原福祉専門学校の学生を確保するため、進学情報誌やインターネットを活用した広報活動を実施するとともに、高校訪問、進学説明会やオープンキャンパスを実施し、県内外の高校教諭や生徒、社会人に対して本校に興味を持ってもらうようPRに努める。	13,620,871	事務事業評価	定員を確保するため、高等学校訪問を継続し、特色、優位性などをPRし学校の知名度の向上を図っている。少子化や介護への進路希望者の減少に伴い、全国的に養成校における定員の確保が難しくなっている。	会場進学説明会の参加エリア拡大、学校訪問の訪問校数や高校を会場に行う説明会への参加を増やし、学校PRを行った。今年度の出願にはつながらなかったが、次年度以降につながる取組だと考える。	少子化や介護職に対する悪いイメージ、景気の上昇に伴う製造業等の求人増加などにより、進路を介護に向ける生徒が減少しており、全国の介護福祉士養成校の定員に対する入学生の割合は50%を割っている状況である。また介護施設の人材不足も深刻化しているため、これまでの募集活動に加え外国人留学生の受け入れ体制を含め検討する。
	50106010		5,834,266	健康福祉部 田原福祉専門学校			
	専門学校学生募集事業		7,786,605	鶴飼 直行			
			14,229,062	高い			
			6,018,706	高い			
	8,210,356	低い					
						改善の効果	普通
21	学校教育の充実	地域に開かれた福祉教育の拠点を目指すため、市民等を対象に公開講座を開催し、市内小中学校や高校の児童・生徒たちに対し、「1日体験入学」の実施や福祉の魅力を紹介する講座を開催する。また、専門性を活かし、介護や福祉について、より多くの市民に楽しく学んでもらうため、オープンカレッジを開講する。	3,524,149	事務事業評価	公立の学校として、市民が身近に福祉にふれる機会を提供するため、講座やオープンカレッジ等を開催している。受講者が少ないため、受講者確保の対策が必要である。	講座やオープンカレッジなどの周知等のため、広報たはら、ホームページなどに掲載し、社協・市民館などへのチラシ配布などを行い、開催周知を図ったが、受講者確保に繋がらなかった。	例年どおりの広報活動に加え、受講意欲を高めるような講座や講義内容及び日程の検討を行なう。また、他課においても同じような内容の講座を開催しているので、連携できないか検討する。
	50106020		267,116	健康福祉部 田原福祉専門学校			
	専門学校地域貢献連携事業		3,257,033	鶴飼 直行			
			2,342,391	高い			
			201,280	高い			
	2,141,111	普通					
						改善の効果	低い

No	施策名	事務事業の目的	H25決算額(円)	事務事業評価		事務事業の現状・課題	平成26年度中に実施した課題解決や事務改善に向けた取組の成果	平成27年度以降の課題解決に向けた取組方針(今後3～5年程度をイメージ)
	事務事業コード		内 直接事業費	担当部課名				
	事務事業名		H26決算額(円)	事務事業評価				
			内 直接事業費	有効性評価				
			内 人件費	効率性評価				
22	学校教育の充実	田原福祉専門学校の適正かつ円滑な運営及び教育の充実のため、非常勤講師を任命し、2年課程の介護福祉士養成校として、地域や施設での実践等を通して、人間性豊かな介護福祉士を養成するために教育課程及び諸事業を実施する。	77,728,263	事務事業評価		一定の基準を設けて、入学を許可しているが、授業についてこられない学生がいる。今後は国家試験が義務化されるため、早期に要支援学生を見極め、きめ細やかな支援をする必要がある。	学生の特性に合わせた対応を常に心がけ、学業の継続に繋がるよう個別指導した。	年度早期に要支援学生を見極め、きめ細かな支援をし、学業の継続につながるような支援を引き続き実施する。平成29年度からの国家試験義務化に対応するため、国家試験対策を充実する。
	50106030		13,025,723	健康福祉部 田原福祉専門学校				
	64,702,540		鶴飼 直行					
	64,106,291		高い					
	11,284,566		高い					
23	学校教育の充実	田原福祉専門学校の円滑な運営のため、施設・機械器具の保守委託業務等を実施し、校舎及び学生寮等が適正な状態で維持できるよう管理を行う。	20,908,435	事務事業評価		施設・設備の老朽化に伴い、修繕費用が増加している。	長期契約の継続や、消耗品などの購入を必要最小限で安価なものを選ぶなどの工夫を行った。	H27年度に校舎空調設備改修、LED照明への変更、学生寮外壁改修工事等を行い、概ね大規模工事は終了するため、関連の修繕費や電気代などが削減される見込み。
	50106040		15,445,794	健康福祉部 田原福祉専門学校				
	5,462,641		鶴飼 直行					
	22,773,386		高い					
	14,258,753		高い					
24	学校教育の充実	田原福祉専門学校の空調設備改修工事及び学生寮の外壁塗装工事の設計業務を行う。また、校舎の老朽化に伴う雨漏り修繕と洋式トイレの改修工事を実施する		事務事業評価		施設・設備の老朽化により、大規模な改修工事が発生している。	老朽化により発生した大規模な改修工事の設計業務に、省エネと経費削減のためLED照明への変更工事を組み入れた。	H27年度に校舎空調設備改修、LED照明への変更、学生寮外壁改修工事等を行い、概ね大規模工事は終了する。
	50106080			健康福祉部 田原福祉専門学校				
			鶴飼 直行					
	4,596,338		高い					
	3,655,800		高い					
25	生涯学習の充実	生涯学習を通して人と人のつながりを多く持ち、人づくりを推進することにより街の活性化を図る。	30,684,434	事務事業評価		・放課後子ども教室(現状) 設置箇所数 7か所 指導員数 21名 (課題) 待機児童の解消 開設場所と指導員の確保 ・生涯学習情報誌 年2回発行 ・社会教育推進について課題が明確でない。	・放課後子ども教室 夏休み期間の利用希望者増加に対応するため、指導員の加配を行った。 ・重点目標を絞り、取組を明確にした。	・放課後子ども教室 放課後児童対策として、市内で未設置の小学校区での開設を行う。 ・社会教育の推進に対する審議を行うなどをして、方針を決定していく体制を構築する。
	50201010		2,418,766	教育部 文化生涯学習課				
	28,265,668		鈴木 洋充					
	30,497,455		高い					
	2,942,329		高い					
26	生涯学習の充実	市民の多種多様な学習要求に応えるため、講座等を開催し、市民の自主的な活動を促し、生涯を通して主体的に学び、心豊で生き生きと自立した人生を築く「きっかけづくり」を行う。また、仲間づくりを推進する。	7,591,059	事務事業評価		・防災キャンプ、夢workerリンク、しおさい大学、市民カレッジなどを開催した。 ・自らの学びを発信する市民カレッジの講師登録件数が少ない。	地元の職業人が講師になり学校でキャリア教育を行う「夢workerリンク」を開催した。	様々な事業で個人の学びや知識などを活用する学びの還元システムを構築する。(ボランティア講師の登録制度の構築等)
	50201020		1,023,812	教育部 文化生涯学習課				
	6,567,247		鈴木 洋充					
	8,292,868		高い					
	858,245		高い					
27	生涯学習の充実	社会教育団体連絡協議会・PTA連絡協議会の活動の充実のため運営費等の一部を補助する。	2,410,444	事務事業評価		社会教育団体連絡協議会においては全体経費の50%以上を補助金が占めており、補助金なしでの運営は困難な状況。	団体に対し、運営方法の検討を促した。	円滑に自主運営ができるよう支援、検討していく。
	50201030		1,800,000	教育部 文化生涯学習課				
	610,444		鈴木 洋充					
	1,925,642		普通					
	1,800,000		普通					
28	生涯学習の充実	生涯学習及び地域コミュニティ活動の拠点として、市民が安心・安全で楽しく利用できるように、市民館の修繕・工事・備品購入等により施設整備を図る。	143,360,998	事務事業評価		校区により状況は様々であり、市民館の活用について地域差がある。地域にあわせて個々に対応するため、地域の状況の把握が必要となっている。	地域コミュニティの拠点となるよう、運用しやすい体制を検討し、必要な施設整備に努める。	地域の人・文化の交流、コミュニティ活性化の拠点として、利用しやすい施設整備及び主事研修など、人的支援を強化し、地域の活性化に資する。
	50202010		89,992,597	教育部 文化生涯学習課				
	53,368,401		鈴木 洋充					
	157,796,182		高い					
	105,966,678		高い					
		51,829,504	普通					

No	施策名	事務事業の目的	H25決算額(円)	事務事業評価		事務事業の現状・課題	平成26年度中に実施した課題解決や事務改善に向けた取組の成果	平成27年度以降の課題解決に向けた取組方針(今後3～5年程度をイメージ)
	事務事業コード		内 直接事業費	担当部課名				
	事務事業名		H26決算額(円)	妥当性評価				
			内 直接事業費	有効性評価				
			内 人件費	効率性評価				
29	生涯学習の充実	江比間野外活動センターの利便性を図り、より多くの利用者に良質のサービスを提供できるよう施設の維持管理及び、運営を行う。(負担割合合田市50%、豊橋市50%)	26,006,934	事務事業評価	平成26年度利用者数は7,369人であり、全体的に減少傾向にある。特にキャンプ場は、宿泊利用者が減少しているため、減少の歯止めを図ることが必要である。	<ul style="list-style-type: none"> ・青年の家利用促進の第1歩として、平日における体育室の夜間利用の周知を呼びかけた。 ・キャンプ場利用促進を図るため、児童クラブを対象としたスピードキャンプの投げかけをし、3クラブが利用をした。 	施設の周知、利便性及び利用料の安さをアピールするために、子ども会、学校、スポーツ団体、企業へ施設概要及び利用事例の紹介を実施し、利用促進を図る。	
	50202040		13,594,783	教育部 文化生涯学習課				
			12,412,151	鈴木 洋充				
	江比間野外活動センター運営事業		24,694,828	高い				
			10,730,477	高い				
			13,964,351	高い				
30	生涯学習の充実	市民の生涯にわたる学習活動を、読書支援及び課題解決支援の観点から積極的に援助し、かつ、交流とコミュニティ活動の推進に寄与するため図書館の管理運営を行う。	123,437,164	事務事業評価	<ul style="list-style-type: none"> ・学校図書館が学習センターとして十分機能するため支援体制構築の必要がある。 ・読書や図書館利用について、地域・年代等による格差が大きく、障がい者や高齢者への施策も不十分である。 ・電子書籍、デジタルアーカイブなど電子化への対応と、地域課題を解決するための図書館機能の充実が必要である。 	<ul style="list-style-type: none"> ・左記の諸課題に対応するための計画として「生涯読書振興計画」を策定した。 ・左記の地域・年代等による格差に対応するため、渥美図書館とハンディキャップサービスのリニューアルを実施した。 	<ul style="list-style-type: none"> ・今年6月に策定した「まち＊ほん 生涯読書振興計画」にもつき、学校図書館支援センターの開設と学校への資料配送システムの整備、障がい者・高齢者等へのサービスの充実、デジタルアーカイブの検討等をすすめる。 ・地域の課題解決の支援の一環として健康、福祉、農業等の分野及び行政・議会への支援を充実させる。 	
	50203010		22,873,579	教育部 図書館				
			100,563,585	豊田 高広				
	図書館運営事業		167,179,950	高い				
			56,156,540	高い				
			111,023,410	普通				
31	生涯学習の充実	市民の資料や情報に対する要求に応え、中央図書館・赤羽根図書館・渥美図書館及び移動図書館いずみ号・やしの実号の資料の収集を行う。	56,870,566	事務事業評価	<ul style="list-style-type: none"> ・それぞれの館・担当毎のニーズに応じた購入費を配分し、計画的に資料を収集している。 ・中央図書館の資料は充実してきたが、分館の資料、非来館者サービスのための資料、課題解決支援のための資料については、未だ十分とはいえない状況である。 	<ul style="list-style-type: none"> ・市民の学習、読書や課題解決に関する知的要求を満たし、多数のリクエストに応えた。 ・学校での読書指導と授業支援に必要な資料を届けるため、学校司書・移動図書館を有効に利用した。 	<ul style="list-style-type: none"> ・現在、図書館の利用が低調な層(中学生、高齢者等)の開拓を行う。 ・職員の専門性を高めることにより、なかが利用の妨げとなっているか、どうすれば利用されるか、どんな資料なら利用できるのかを見極めることができるようにし、ニーズが高い資料を継続的・系統的に購入してゆく。 	
	50203020		38,840,991	教育部 図書館				
			18,029,575	豊田 高広				
	図書館資料収集事業		56,756,679	高い				
			40,117,308	普通				
			16,639,371	高い				
32	スポーツの振興	スポーツ振興に係る関係機関との連携により、スポーツの推進を図る。	12,598,314	事務事業評価	<ul style="list-style-type: none"> ・オリンピック事前合宿誘致活動 ・中部北陸実業団駅伝大会の開催 ・渥美半島駅伝大会の再開 ・スポーツ推進計画の調査、検討 	<ul style="list-style-type: none"> ・実業団駅伝大会の安全性を図るため大幅なコース変更を行った。 ・渥美半島駅伝の再開に向けコース等の検討を行った。 ・スポーツ推進計画策定に向け調査、検討を実施した。 	<ul style="list-style-type: none"> ・スポーツ推進計画の策定 ・実業団駅伝大会のコースを確定させる。 ・渥美半島駅伝大会の再開に向けて、コース変更に伴う経費等を検討する。 ・オリンピック合宿誘致活動を行う。 	
	50301010		2,965,077	教育部 スポーツ課				
			9,633,237	大羽 耕一				
	スポーツ振興事業		21,595,546	高い				
			4,201,975	高い				
			17,393,571	高い				
33	スポーツの振興	市におけるスポーツ振興のため、市民に対しスポーツの実技指導その他スポーツに関する指導及び助言を行う。	10,084,846	事務事業評価	<ul style="list-style-type: none"> ・キンボールスポーツ教室の開催 ・小・中学校・校区等各種団体への出前講座の実施 ・東三河・県・東海四県の各種研修会へ参加 ・各種スポーツ大会の運営 	<ul style="list-style-type: none"> ・ニュースポーツの市民への普及を目指して、各種団体への出前講座を積極的に実施した。 	<ul style="list-style-type: none"> ・ニュースポーツの普及のための手段や開催場所、広報活動など検討する。 ・新たにノルディックウォーキングの普及を目指して、出前講座などを開催する。 	
	50301020		6,425,658	教育部 スポーツ課				
			3,659,188	大羽 耕一				
	スポーツ推進委員活動事業		11,595,058	高い				
			6,362,616	高い				
			5,232,442	普通				
34	スポーツの振興	スポーツ普及員を各地区へ配置し、地域で行なうスポーツに関する事業等の企画、運営に携わることを始め、各種団体との連携をとりながら地域スポーツ活動の推進を図る。	1,600,809	事務事業評価	<ul style="list-style-type: none"> ・地域スポーツ普及員研修会、スポーツギネス大会への参加・協力 ・各校区・地区でのスポーツ大会等の企画・運営 	<ul style="list-style-type: none"> ・地域スポーツ普及員研修会を2日間開催したことで、参加者の増加を図った。 	<ul style="list-style-type: none"> ・スポーツ普及員が各校区・地区でどんな活動をしているか実態調査し、活動謝礼の支払方法について検討する。 ・地域スポーツ普及員研修会の開催方法について検討する。 	
	50301030		1,180,000	教育部 スポーツ課				
			420,809	大羽 耕一				
	スポーツ普及員育成事業		1,910,589	普通				
			760,000	普通				
			1,150,589	普通				
35	スポーツの振興	スポーツ振興のため、体育協会活動の支援を行い、スポーツ教室・スポーツフェスティバルの参加を通して市民のスポーツに対する高揚を図る。	5,147,544	事務事業評価	<ul style="list-style-type: none"> ・体育協会が独立し活動できるように支援する。 	<ul style="list-style-type: none"> ・委託事業の適正運営や自主事業の運営の効率性を図った。 	<ul style="list-style-type: none"> ・体育協会が独立して活動できるよう引き続き支援する。 	
	50301040		4,313,000	教育部 スポーツ課				
			834,544	大羽 耕一				
	体育協会活動支援事業		6,104,632	普通				
			4,313,000	普通				
			1,791,632	普通				
						改善の効果	普通	

No	施策名	事務事業の目的	H25決算額(円)	事務事業評価	事務事業の現状・課題	平成26年度中に実施した課題解決や事務改善に向けた取組の成果	平成27年度以降の課題解決に向けた取組方針(今後3～5年程度をイメージ)
	事務事業コード		内 直接事業費	担当部課名			
	事務事業名		H26決算額(円)	妥当性評価			
			内 直接事業費	有効性評価			
			内 人件費	効率性評価			
36	スポーツの振興	スポーツ少年団発展のため指導者育成、活動の支援を行い団体の育成を図る。	1,927,635	事務事業評価	スポーツ少年団が独立して活動できるよう支援する。	若い指導者が育成できるよう、指導者育成事業の見直しを行った。	スポーツ少年団が独立して活動できるよう引き続き支援する。
	50301050		1,260,000	教育部 スポーツ課			
	スポーツ少年団活動支援事業		667,635	大羽 耕一			
			3,232,439	普通			
			1,260,000	普通			
		1,972,439	普通				
						改善の効果	普通
37	スポーツの振興	スポーツ人口の拡大及び競技力の向上など市民の競技スポーツに対する意識の高揚を図る。	1,691,178	事務事業評価	全国大会等に出場する選手に対して、激励金を支給する。	表敬訪問等と組み合わせ、全国大会出場者の認知を向上させることで、競技スポーツに対する市民の意識向上に寄与した。	市民に対する支給者の周知を拡大し、全国大会出場者の認知度を高めるよう検討する。
	50301060		330,000	教育部 スポーツ課			
	スポーツ選手全国大会等出場激励事業		1,361,178	大羽 耕一			
			2,407,429	普通			
			440,000	普通			
		1,967,429	普通				
						改善の効果	普通
38	スポーツの振興	市内の全小中学校の屋内運動場、武道場、屋外運動場等を学校教育に支障のない範囲でアマチュアスポーツの定期的な活動場所として市民に開放する。	7,933,295	事務事業評価	身近な学校をスポーツの場として利用できることで、地域のスポーツ振興に寄与している。	利用者の利便性向上のため、老朽化した備品の新規購入を行った。	地域のスポーツ需要により応えられる学校施設利用のあり方について検討するとともに、学校施設の公正な利用の推進に努める。
	50302010		4,083,840	教育部 スポーツ課			
	学校施設開放事業		3,849,455	大羽 耕一			
			9,037,439	普通			
			3,886,045	普通			
		5,151,394	普通				
						改善の効果	普通
39	スポーツの振興	市民が生涯にわたり身近な環境でスポーツを楽しめる機会を提供し、市民の体力増強及び健康増進に寄与できるような各種大会を実施する。	2,841,505	事務事業評価	・スポーツフェスティバル、スポーツギネス大会などの開催 ・キンボールスポーツ大会、ディスクゴルフ大会、ウィーキング大会の開催・運営	より多くの市民がスポーツ大会に参加できるようにPRしたが、キンボールスポーツ大会は昨年並の参加者、ディスクゴルフ大会は開催時期が悪かったため参加者が減少した。	・スポーツギネス大会の運営について検討する。 ・より多くの市民が参加するよう、各スポーツ大会をPRする。
	50302020		380,712	教育部 スポーツ課			
	スポーツ大会開催事業		2,460,793	大羽 耕一			
			4,205,458	普通			
			512,286	普通			
		3,693,172	普通				
						改善の効果	普通
40	スポーツの振興	スポーツの重要性と楽しさを伝えるとともに、技術の向上及び知識の習得を目指し、スポーツ教室等を開催する。	5,633,728	事務事業評価	中学生スポーツ教室の開催 スポーツ健康講座の開催	野球教室の開催方法を一部変更し、参加者への個別指導が行き届きやすくなった。	より効率的な教室運営ができるよう検討する。
	50302030		987,080	教育部 スポーツ課			
	スポーツ健康講座等開催事業		4,646,648	大羽 耕一			
			5,418,265	普通			
			934,777	普通			
		4,483,488	普通				
						改善の効果	普通
41	スポーツの振興	市民にスポーツ活動の場を提供し、安全に安心して利用できる施設を目指し、施設の安定した維持管理を行う。	10,410,407	事務事業評価	・市民のスポーツへの関心を高めるため、活動の中心となる施策の適切な管理及び運営が必要である。 ・老朽化により、利用者が安心して使用するために適切な維持コストが必要である。	・専門業者による設備の保守点検を実施 ・経年劣化による故障箇所の修繕を実施(非常照明用蓄電池取替、暗幕閉装置取替)	施設全体の経年・機能・性能劣化を防ぐため、利用者の利便性を優先し、継続的な修繕等を速やかに実施する。
	50303010		6,984,320	教育部 スポーツ課			
	総合体育館運営事業		3,426,087	大羽 耕一			
			12,373,062	高い			
			9,846,437	高い			
		2,526,625	普通				
						改善の効果	普通
42	スポーツの振興	スポーツ施設(体育館・野球場・多目的広場・テニスコート・弓道場)の拠点として重要な役割を担っており、施設の安定した維持管理を行う。	42,498,734	事務事業評価	市民のスポーツへの関心を高めるため、活動の中心となる施策の適切な管理及び運営が必要である。 老朽化により、利用者が安心して使用するために適切な維持コストが必要である。	専門業者による設備の保守点検を実施 経年劣化による故障箇所の修繕を実施(野球場セフティクッション設置、テニスコート整備)	施設全体の経年・機能・性能劣化を防ぐため、利用者の利便性を優先し、継続的な修繕等を速やかに実施する。
	50303020		30,184,752	教育部 スポーツ課			
	渥美運動公園運営事業		12,313,982	大羽 耕一			
			58,662,527	高い			
			43,894,569	高い			
		14,767,958	普通				
						改善の効果	普通

No	施策名	事務事業の目的	H25決算額(円)	事務事業評価	事務事業の現状・課題	平成26年度中に実施した課題解決や事務改善に向けた取組の成果	平成27年度以降の課題解決に向けた取組方針(今後3～5年程度をイメージ)
	事務事業コード		内 直接事業費	担当部課名			
	事務事業名		H26決算額(円)	妥当性評価			
			内 直接事業費	有効性評価			
			内 人件費	効率性評価			
43	スポーツの振興	市民にスポーツ活動の場を提供し、優れた施設でスポーツに親しむために、施設の安定した維持管理を行う。	9,615,797	事務事業評価	市民のスポーツへの関心を高めるため、活動の中心となる施策の適切な管理及び運営が必要である。 ・老朽化により、利用者が安心して使用するために適切な維持コストが必要である。	施設の修繕を実施(テニスコート人工芝修繕)	施設全体の経年・機能・性能劣化を防ぐため、利用者の利便性を優先し、継続的な修繕等を速やかに実施する。
	50303030		4,455,578	教育部 スポーツ課			
	中央公園スポーツ施設運営事業		5,160,219	大羽 耕一			
			13,120,286	高い			
			7,380,603	高い			
		5,739,683	普通				
44	スポーツの振興	施設の利便性を図り、多くの市民がスポーツに親しむことができるように管理運営を行う。	25,989,686	事務事業評価	市民のスポーツへの関心を高めるため、活動の中心となる施策の適切な管理及び運営が必要である。 ・老朽化により、利用者が安心して使用するために適切な維持コストが必要である。	指定管理者(田原造園協同組合)による適切な管理運営を実施。 ・施設の利便性向上を図る。(野球場ベンチ屋根修繕)	市民が安全・安心して利用して利用できるスポーツ施設の整備を図り、安定した維持管理を実施する。
	50303040		22,891,265	教育部 スポーツ課			
	緑が浜運動公園運営事業		3,098,421	大羽 耕一			
			26,792,025	高い			
			23,951,069	高い			
		2,840,956	普通				
45	スポーツの振興	施設の利便性を図り、多くの市民がスポーツに親しむことができるように管理運営を行う。	28,092,686	事務事業評価	市民のスポーツへの関心を高めるため、活動の中心となる施策の適切な管理及び運営が必要である。 ・老朽化により、利用者が安心して使用するために適切な維持コストが必要である。	指定管理者(田原区)による適切な管理運営を実施。 ・施設の利便性向上を図る。(野球場グラウンド整備)	市民が安全・安心して利用して利用できるスポーツ施設の整備を図り、安定した維持管理を実施する。
	50303050		25,680,562	教育部 スポーツ課			
	滝頭公園スポーツ施設運営事業		2,412,124	大羽 耕一			
			13,710,456	高い			
			11,416,547	高い			
		2,293,909	普通				
46	スポーツの振興	施設の利便性を図り、多くの市民がスポーツに親しむことができるように管理運営を行う。	14,807,377	事務事業評価	市民のスポーツへの関心を高めるため、活動の中心となる施策の適切な管理及び運営が必要である。 ・老朽化により、利用者が安心して使用するために適切な維持コストが必要である。	指定管理者(白谷区)による適切な管理運営を実施。 ・施設の利便性向上を図る。(高跳びマット修繕)	市民が安全・安心して利用して利用できるスポーツ施設の整備を図り、安定した維持管理を実施する。
	50303060		12,642,199	教育部 スポーツ課			
	白谷海浜公園陸上競技場運営事業		2,165,178	大羽 耕一			
			11,048,158	高い			
			9,027,773	高い			
		2,020,385	普通				
47	スポーツの振興	市民にスポーツ活動の場を提供し、安心安全に利用できる施設を目指し、安定した維持管理を行う。	15,057,182	事務事業評価	市民のスポーツへの関心を高めるため、活動の中心となる施策の適切な管理及び運営が必要である。 ・老朽化により、利用者が安心して使用するために適切な維持コストが必要である。	専門業者による設備の保守点検を実施。 ・経年劣化による故障箇所の修繕を実施。(多目的ホール床修繕、研修室空調機器設置)	施設全体の経年・機能・性能劣化を防ぐため、利用者の利便性を優先し、継続的な修繕等を速やかに実施する。
	50303070		5,784,959	教育部 スポーツ課			
	赤羽根文化広場運営事業		9,272,223	大羽 耕一			
			20,023,375	高い			
			9,317,920	高い			
		10,705,455	普通				
48	スポーツの振興	地域のスポーツ活動の場として重要な役割を担っており、広場の安定した維持管理を行う。	3,088,051	事務事業評価	市民のスポーツへの関心を高めるため、活動の中心となる施策の適切な管理及び運営が必要である。 ・老朽化により、利用者が安心して使用するために適切な維持コストが必要である。	経年劣化による故障箇所の修繕を実施。(防球ネット修繕)	施設全体の経年・機能・性能劣化を防ぐため、利用者の利便性を優先し、継続的な修繕等を速やかに実施する。
	50303080		2,489,445	教育部 スポーツ課			
	地域運動公園運営事業		598,606	大羽 耕一			
			3,646,133	普通			
			2,714,371	普通			
		931,762	普通				
49	青少年健全育成	青少年施策を関係団体と協議し、青少年の健全育成を推進する。各校区に青少年健全育成推進員を委嘱し、校区の青少年健全育成を推進する。	6,628,590	事務事業評価	青少年の非行や、いじめ、不登校など、青少年をめぐる様々な問題の対策として、地域や家庭が連携し情報交換の場を提供する必要がある。	中学校と青少年健全育成推進員との連携強化のため、各学校に情報交換実施を働きかけた。 ・ひきこもり、ニートなどの若者支援のため子ども若者支援地域協議会設置、子ども若者総合相談窓口を開設し支援を行った。	青少年健全育成関係機関の連携体制の構築。 ・地域のソーシャルワークを構築して、非行・いじめなどの予防やひきこもりなどの困難を有する若者を支援する体制を構築する。
	50401010		1,040,180	教育部 文化生涯学習課			
	青少年健全育成推進事業		5,588,410	鈴木 洋充			
			10,341,047	高い			
			2,150,738	高い			
		8,190,309	普通				
					改善の効果	普通	

No	施策名	事務事業の目的	H25決算額(円)	事務事業評価		事務事業の現状・課題	平成26年度中に実施した課題解決や事務改善に向けた取組の成果	平成27年度以降の課題解決に向けた取組方針 (今後3～5年程度をイメージ)	
	事務事業コード		内 直接事業費	担当部課名					
	事務事業名		内 人件費	評価責任者氏名					
			H26決算額(円)	妥当性評価					
		内 直接事業費	有効性評価						
		内 人件費	効率性評価						
50	青少年健全育成	文化体験により青少年健全育成を図る。	2,396,347	事務事業評価		お茶お花をはじめ22の文化体験教室を開催し、延べ395人が参加した。開催準備時期に事務が集中する。効率化について検討が必要。	・記載ミスを減らすため、申込様式の見直しを行った。 ・申込状況により、講師と相談しながら、教室の追加、施設利用の調整を行った。	・広く講師を募集し多様な文化体験ができるよう取り組む。 ・魅力的な教室開催により、児童生徒に対する参加者の割合を増やす。	
	50401020		874,668	教育部 文化生涯学習課					
	児童生徒文化体験事業		1,521,679	鈴木 洋充					
			2,566,398	高い					
			827,196	普通					
	1,739,202	普通							
				改善の効果	普通				
51	青少年健全育成	保護者等に対して家庭教育に関する学習機会を提供し、家庭教育の重要性についての共通理解と意識を深め、家庭・学校・地域が連携して青少年健全育成を推進することにより、家庭教育力の向上を図る。	1,807,887	事務事業評価		各保育園・小中学校等で企画する公演等を支援している。	講演会を企画提案し、学校と協働で開催した。	保育園・小中学校等へ情報提供や企画提案を行い、より充実した学習機会を提供する。	
	50401030		848,000	教育部 文化生涯学習課					
	家庭教育推進事業		959,887	鈴木 洋充					
			1,689,495	高い					
			637,780	高い					
	1,051,715	普通							
				改善の効果	普通				
52	青少年健全育成	大人になったことの責任を自覚し、豊かな人間性を持った大人として活躍してもらうことを期待し、激励するために記念式典を開催する。	2,047,647	事務事業評価		平成27年(平成26年度)成人式は612名が参加し、出席率約7割と例年並みであった。実行委員会が主体となり式典内容を協議していくことが望ましいが、何度も会議をもち、現状で満足する成人も多いため、協議しても例年通りで良いという結果になる。	・事前の参加者からの要望をうけ、手話通訳及び要約筆記を実施した。 ・内容について、実行委員会で検討したが、前年どりの開催となった。	式典の内容や、実行委員のあり方について、実行委員の意見を聞きながら、今後も検討していく。	
	50401040		1,503,600	教育部 文化生涯学習課					
	成人式運営事業		544,047	鈴木 洋充					
			2,817,156	高い					
			1,534,784	高い					
	1,282,372	高い							
				改善の効果	普通				
53	青少年健全育成	地域における児童健全育成を推進することにより、家庭の教育力の向上を図る。	3,278,281	事務事業評価		単位子ども会により、会員数・活動内容・活動費などに大きく差があり、補助金のあり方に対する検討が必要。	市子連加入子ども会の1人当りの補助金の見直しを図り、未加入子ども会との活動費の差を無くした。	校区などの関連機関と調整しながら補助金のあり方を検討する。魅力ある事業の見直しを図り、市子連への加入を推進する。	
	50401050		2,705,600	教育部 文化生涯学習課					
	子ども会活動支援事業		572,681	鈴木 洋充					
			3,347,187	普通					
			2,643,600	普通					
	703,587	普通							
				改善の効果	普通				
54	青少年健全育成	田原市子ども会連絡協議会が行う研修(各子ども会のリーダー・育成者・ジュニアリーダー育成等)、スポーツ大会等の事業に対して補助を行い、活動促進を図る。	850,894	事務事業評価		市子ども会連絡協議会を脱退していく子ども会が増加傾向にあり、子ども会リーダー、ジュニアリーダーの養成が困難になってきている。	運営体制について、子ども会連絡協議会と協議を行った。	運営体制や市子連のあり方、事業の見直しを図っていく。	
	50401060		660,000	教育部 文化生涯学習課					
	子ども会連絡協議会活動支援事業		190,894	鈴木 洋充					
			1,086,322	普通					
			500,000	普通					
	586,322	普通							
				改善の効果	普通				
55	芸術文化の振興	音楽等に対する市民の意識の高揚を図るため、芸術文化・市民団体の活動を支援する。	2,518,443	事務事業評価		音楽祭、家庭の日コンサート、あつみロビーコンサートを市民団体に委託し開催した。文化ホール事業支援により、市民団体が企画するコンサートを開催した。	市民団体の企画を必要に応じてサポートしながら、コンサート等を開催した。	市民活動の自発的な企画・運営支援を継続的に行っていく。	
	50501010		850,000	教育部 文化生涯学習課					
	芸術文化振興事業		1,668,443	鈴木 洋充					
			2,609,417	高い					
			950,000	高い					
	1,659,417	普通							
				改善の効果	普通				
56	芸術文化の振興	文化振興のために文化協会活動の支援を行ったり、文化祭・文化教室の参加者を通して市民の文化意識の向上を図る。	3,195,410	事務事業評価		春の文協まつり、文化祭、文化教室を開催し、市民への文化の振興を行っている。文化協会の会員数減少、高齢化が進んでおり、新しい会員を増やすための取組が必要である。	文化教室のチラシを工夫し、内容の周知を図った。	魅力ある文化協会となるよう、継続的に活動を支援し、市民の文化活動への理解を広めていく。	
	50501020		2,470,000	教育部 文化生涯学習課					
	文化協会活動支援事業		725,410	鈴木 洋充					
			4,304,417	普通					
			2,645,000	普通					
	1,659,417	普通							
				改善の効果	普通				

No	施策名	事務事業の目的	H25決算額(円)	事務事業評価		事務事業の現状・課題	平成26年度中に実施した課題解決や事務改善に向けた取組の成果	平成27年度以降の課題解決に向けた取組方針(今後3～5年程度をイメージ)	
	事務事業コード		内 直接事業費	担当部課名	内 人件費				評価責任者氏名
	事務事業名		H26決算額(円)	事務事業評価					
			内 直接事業費	有効性評価					
			内 人件費	効率性評価					
57	芸術文化の振興	文化ホール事業を実施し、市民の文化芸術に対する意識の高揚を図り、健全な街づくりを促進する。	8,986,188	事務事業評価		市内中学2年生を対象に中学生芸術鑑賞会を開催した。	中学生芸術鑑賞会の演目、開催方法について、市内中学校の意見を聴取し、次年度計画に反映した。	平成27年度以降の課題解決に向けた取組方針(今後3～5年程度をイメージ)	
	50502010		5,589,570	教育部 文化生涯学習課	鈴木 洋充				
	文化ホール等事業		4,517,163	高い					
			2,464,150	高い					
			2,053,013	普通					
改善の効果	高い								
58	芸術文化の振興	生涯学習施設の拠点として重要な役割を担っており、施設の安定した維持管理を行う。	195,682,783	事務事業評価		市民の芸術文化活動の活性化や意識向上のため、活動の中心となる施策の適切な管理及び運営が必要である。 ・老朽化により、利用者が安心して使用するために適切な維持コストが必要である。	専門業者による設備の保守点検を実施 ・経年劣化による故障箇所の修繕を実施(非常照明用蓄電池取替、熱源設備修繕)	施設全体の経年・機能・性能劣化を防ぐため、利用者の利便性を優先し、継続的な修繕等を速やかに実施する。	
	50503010		176,016,667	教育部 スポーツ課	大羽 耕一				
	田原文化広場運営事業		132,118,333	高い					
			108,502,769	高い					
			23,615,564	普通					
改善の効果	普通								
59	芸術文化の振興	市民に文化活動の場を提供し、優れた舞台芸術に接するために、施設の安定した維持管理を行う。	23,213,939	事務事業評価		市民の芸術文化活動の活性化や意識向上のため、活動の中心となる施策の適切な管理及び運営が必要である。 ・老朽化により、利用者が安心して使用するために適切な維持コストが必要である。	専門業者による設備の保守点検を実施 ・経年劣化による故障箇所の修繕を実施(自家発電設備制御盤更新、天井反射板ワイヤーロープ取替)	施設全体の経年・機能・性能劣化を防ぐため、利用者の利便性を優先し、継続的な修繕等を速やかに実施する。	
	50503020		16,995,370	教育部 スポーツ課	大羽 耕一				
	赤羽根文化会館運営事業		27,571,708	高い					
			21,412,494	高い					
			6,159,214	普通					
改善の効果	普通								
60	芸術文化の振興	生涯学習施設として渥美文化会館の適正な管理運営を行う。	94,988,717	事務事業評価		施設及び設備等の老朽化による傷みが著しく、機器の故障等も発生している。施設全体の経年劣化に対応するため、関係課と連携して計画的な修繕及び整備を実施していく必要がある。	文化ホール等の施設設備の修繕工事を行い、保守点検等の維持管理を適切に行い、利用者が安全に利用できた。	施設及び設備等の老朽化による不具合も発生しているため、今後の利用状況を考え計画的に修繕及び整備を実施して行く。	
	50503030		77,324,842	渥美支所 地域課	鈴木 淳一				
	渥美文化会館運営事業		49,574,366	高い					
			32,368,057	高い					
			17,206,309	普通					
改善の効果	普通								
61	芸術文化の振興	茶華道愛好者の拠点施設として重要な役割を担っており、会館の安定した運営及び維持管理を行う。	6,083,578	事務事業評価		平成26年度の年間利用者は13,821人であり、茶華道の拠点施設として、文化の継承、学習機会を広く市民に提供することができた。	施設の適正な維持管理を行うことで、施設の長寿命化を図ることができた。	現状を維持するため、施設の適切な維持管理を行うとともに、他施設との連携による利用者増加の工夫に取り組む。	
	50503040		2,647,507	教育部 文化生涯学習課	鈴木 洋充				
	池ノ原会館運営事業		6,392,932	高い					
			3,925,173	高い					
			2,467,759	普通					
改善の効果	普通								
62	文化財の継承	埋蔵文化財の保存・活用を図るため、出土資料の整理や台帳整備を行う。 ・国、県と連携し保美貝塚等遺跡調査を実施する。 ・公共工事に伴う現地立会や現地調査を適宜実施する。	17,952,601	事務事業評価		公共工事や開発行為等に伴う埋蔵文化財発掘調査等の対応、赤羽根収蔵庫(旧成軍高校赤羽根校舎)を作業拠点とした埋蔵文化財資料等の保管の一元化と資料整理作業を進めている。国庫補助事業としての遺跡調査(保美貝塚)の実施。公共工事や開発行為等に伴う埋蔵文化財発掘調査等が増加し、対応が困難と成ってきている。	集約的な作業実施により資料整理の効率性が高まった。また、遺跡調査(保美貝塚)は、その成果が顕著にみられた。	引き続き、計画的な埋蔵文化財資料の保管・整理業務を推進する。また、継続的な遺跡調査(保美貝塚)を推進する。また、成果について市民に還元できるような方法、調査体制について検討を進める。	
	50601010		2,597,189	教育部 文化生涯学習課	鈴木 洋充				
	埋蔵文化財調査事業		25,969,473	高い					
			5,638,186	普通					
			20,331,287	高い					
改善の効果	高い								
63	文化財の継承	文化財保護審議会による文化財保護の推進と文化財の啓発・啓蒙を図る。	14,295,846	事務事業評価		文化財保護を推進する上で、文化財指定の必要性が高く、文化財指定の推進が必要である。 ・指定文化財、登録文化財の調査を積極的に進め、適正な管理を図る必要がある。	文化財の啓発を図るため、継続的に広報やホームページを通じて情報発信している。 ・文化財保護の中心的機関である文化財保護審議会から専門的指導を得ている。	文化財保護の基軸となる文化財の指定を進める。指定文化財候補の調査を行う。 ・指定文化財の調査を進める。 ・広報やホームページを積極的に活用し、情報発信を継続的にを行い住民の理解を深める。	
	50601020		4,024,381	教育部 文化生涯学習課	鈴木 洋充				
	文化財保護事業		9,253,427	高い					
			4,717,519	普通					
			4,535,908	普通					
改善の効果	高い								

No	施策名	事務事業の目的	H25決算額(円)	事務事業評価		事務事業の現状・課題	平成26年度中に実施した課題解決や事務改善に向けた取組の成果	平成27年度以降の課題解決に向けた取組方針(今後3～5年程度をイメージ)
	事務事業コード		内 直接事業費	担当部課名				
	事務事業名		内 人件費	評価責任者氏名				
			H26決算額(円)	妥当性評価				
内 直接事業費		有効性評価						
				内 人件費	効率性評価			
64	文化財の継承	地域で守られている伝統文化の継承と、後継者の育成を図る。また、ふるさと学習の推進を図るため、出前講座等の開催や文化財刊行物を発行する。	2,590,239	事務事業評価		<ul style="list-style-type: none"> ・後継者の育成やふるさと学習の推進を図るため、地域の伝統文化・伝統食の調査等を行う必要がある。 ・文化財保護事業補助金の基準が明確でない部分があるため、明確にする必要がある。 	<ul style="list-style-type: none"> ・地域の歴史・文化を継承する目的で、出前講座や普及啓発資料等の活用等により、ふるさと学習の推進を図った。 ・文化財刊行物「田原の文化ガイドⅣ」を発行した。 	<ul style="list-style-type: none"> ・出前講座や普及啓発資料等を活用し、ふるさと学習を推進する。 ・文化財刊行物を発行する。 ・地域の伝統文化・伝統食の調査等を進める。
	50602010		755,921	教育部 文化生涯学習課				
	文化継承推進事業		1,834,318	鈴木 洋充				
	1,670,661		高い					
	1,181,200		高い					
489,461	高い			改善の効果	極めて高い			
65	文化財の継承	歴史資料の収集、整理、保存を通して本市の歴史を取りまとめることより、史料類の散逸防止と本市の歴史と文化の継承を図る。	32,415,500	事務事業評価		<ul style="list-style-type: none"> ・渥美町史は平成17年の閉町まで発行済み ・田原町史、赤羽根町史は、空白期間あり ・田原・赤羽根史現代編集委員会(委員14人、協力員1人) ・平成26年度12回/年開催 ・委員の分担による資料調査・執筆 ・田原藩日記等翻刻作業 ・専門知識のある嘱託員による翻刻 	<ul style="list-style-type: none"> ・現代編集委員会を中心とした資料調査の成果を事務局の書架に整理、保管し、また、史料類の一部はデジタル化することにより、歴史的資料の適正な保存に結び付けている。 	<ul style="list-style-type: none"> ・平成28年度刊行予定の田原・赤羽根町史現代編の編集に一定の目処をつけた後に、(仮称)新編・田原市の編さん、編集に向けた調査、研究、執筆の体制を築いていく必要がある。併せて、市史編さんに関わることのできる人材(後継者)の育成に取り組んでいく必要がある。
	50602020		2,434,407	教育部 文化生涯学習課				
	市史編さん事業		29,981,093	鈴木 洋充				
	39,273,110		極めて高い					
	5,944,976		高い					
33,328,134	普通							
66	文化財の継承	田原市博物館は重要文化財や重要美術品、田原藩関係資料等を収蔵しており、企画展、講座等の開催、平常展展示替、刊行物により、より多くの所蔵資料の展示公開を行う。	98,089,317	事務事業評価		<ul style="list-style-type: none"> ・平成26年度入館者数:博物館13,979人(50人/日)、渥美郷土資料館8,977人(29人/日)、民俗資料館2,158人(14人/日)、民俗資料館は試行的休館として土日曜日のみ開館実施。 ・資料収集:購入(3点)、美術・歴史・民俗資料(49件) 	<ul style="list-style-type: none"> ・自然・歴史をテーマとした展覧会の開催により新規層の入館者を開拓することができた。 ・重要文化財をはじめとしたゆかりの作品を収集することができた。 	<ul style="list-style-type: none"> ・新規入館者の獲得を目指し、幅広いテーマや年齢層に対応した展覧会を実施する。体験学習的な要素を取り入れた展覧会開催時のイベント、教室・講座を開催し、ふるさと学習の充実を図る。市内学校との連携を強化する。 ・歴史・民俗・美術資料を再整理し、今後の事業に活用する。 ・次世代を担う後継者(学芸員)の育成に取り組む。
	50603010		64,020,851	教育部 文化生涯学習課				
	博物館運営事業		34,068,466	鈴木 洋充				
	88,929,141		極めて高い					
	54,642,114		高い					
34,287,027	高い							
67	文化財の継承	施設の適切な維持管理を行うとともに、利用者が安全で安心して利用しやすい運営に努め、常設展示や刊行物により、所蔵資料の展示・公開を行う。	11,781,252	事務事業評価		<ul style="list-style-type: none"> ・利用者が安全で安心して利用できるように、施設の適切な維持管理・整備等を行う必要がある。 	<ul style="list-style-type: none"> ・修繕の実施や施設及び機器の保守点検等の維持管理を適切に行い、利用者が安全に利用できた。 	<ul style="list-style-type: none"> ・施設全体を適切に維持し、利用者の利便性を向上するため、施設の修繕・改修を実施する。
	50603020		1,174,237	渥美支所 地域課				
	渥美郷土資料館管理事業		10,607,015	鈴木 淳一				
	11,517,863		高い					
	1,501,260		普通					
10,016,603	普通							
68	文化財の継承	国指定史跡「吉胡貝塚」の考古文化遺産としての活用を図り、吉胡貝塚史跡公園(シェルマよしご)の効率的な運営・管理を行って、広く市民に歴史・文化の学習機会を提供する。	20,999,301	事務事業評価		<ul style="list-style-type: none"> ・平成26年度の観覧者4,974人(16人/日)、体験学習参加者6,184人(20人/日)であり、国指定史跡吉胡貝塚の歴史文化の継承、学習機会を広く市民に提供する。 	<ul style="list-style-type: none"> ・小中学校や広域連携を図るなど積極的なPR活動を行うとともに、運営面でも体験学習メニューの多様化を図った。 	<ul style="list-style-type: none"> ・展示替えが無い中で、観覧者数が微減であるので、引き続き積極的なPR活動や小中学校や広域連携、体験学習メニューの多様化を図り、安定的な利用促進を図る。
	50603030		6,741,251	教育部 文化生涯学習課				
	吉胡貝塚公園運営事業		14,258,050	鈴木 洋充				
	21,341,035		極めて高い					
	7,168,135		高い					
14,172,900	普通							